

トルコ為替週報

2023年5月3日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(4月25日～5月2日)

USD/TRY: 19.3950～19.7079

TRY/JPY: 6.83～7.03 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は対ドルで続落。昨年10月以来の緩やかな下落ペースが継続している。対円相場ではドル・円が植田・新日銀総裁の体制下での初会合を経て大幅に円安が進行していることを受けて、今年3月中旬以来となる7円台をいったん回復した。

もっとも、こうした安定的なリラ相場が実勢を反映しているかについて疑念視する向きも多い。ブルームバーグなどのメディアでは、インターバンク(銀行間市場)でのリラの対ドル交換レートと、グランド・バザール(オスマン帝国時代以来の歴史を持つ、イスタンブールの旧市街にある巨大市場)でのレートの乖離が注目を集めている。いわゆる「街の両替屋」である彼らがインターバンクでのスポットレートよりも大幅にリラ安の交換レートを提示しているということは、それはトルコ人の肌感覚として今のリラの対ドルレートが実勢に合っていない、ということを示すものであろう。

このグランド・バザールでのリラの対ドル交換レートが先週にはややリラ高方向に持ち直しているが、トルコ中央銀行(TCMB)が市中に金の準備を放出したとブルームバーグが報じているほか、金の購入をリラで行えるようにした制度変更が影響しているだろう。高インフレが定着しているトルコにおいて、金は資産の保全手段として根強い人気があるが、これまではドルでしか購入することができず、金の購入費用を準備するためのドル調達ニーズがリラ安の一因となっていた。もちろん、中長期的な視点で見たリラ安の背景には、経常赤字の拡大や、実質政策金利の大幅なマイナスなどがあるため、こうした対応は根本的な解決にはならないだろう。

TCMBは4月27日の金融政策決定会合で市場予想通り政策金利を8.50%で据え置いた。中銀の利下げ見送りの判断には、5月14日に大統領・議会選挙を控えたリラ相場の変動リスクの高まりが影響しただろう。また、TCMBは声明文で、2月の大地震で被災した地域の「復興は予想以上に速く進んでいる」との見解を示した。TCMBは震災直後の2月会合には50bpの利下げを行っているが、復興支援を目的とした金融緩和はもはや不要、という立場を示した形だ。経済指標では、3月分の貿易収支と外国人観光客数が公表された。3月の貿易収支は▲83億ドルと2月の▲121億ドルから赤字幅が縮小した。3月の外国人観光客数は前年同月比+12.3%の234万人となった。トルコの観光客数は2022年に4,451万人とコロナ前の2019年の4,505万人をほぼ回復しているが、2023年初頭以降も3か月連続で観光客は前年を上回っており、このセクターの好調ぶりを示す結果となった。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/27	12:00	政策金利発表		8.5%	8.5%	8.5%
4/28	08:00	貿易収支	3月	-8.60b	-8.34b	-12.10b
4/28	09:00	外国人観光客数	3月		12.3%	21.4%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(5月3日～5月9日)

USD/TRY: 19.30～19.80

TRY/JPY: 6.70～7.10

向こう1週間のトルコ・リラ相場は膠着状態を見込む。選挙を直前に控えるなか、仕掛けの動きは、トルコ当局による様々な為替取引規制によって封じられる公算が大きいためだ。もっとも、対GDP比で8%に迫ろうとする経常赤字や、実質政策金利の大幅なマイナスを背景とするファンダメンタルズからの潜在的なリラ売り圧力は当面継続する公算が大きく、5月14日の選挙結果を受けた短期的な上下動はあるにせよ、基調的にはリラ安方向の展開が続くと見ている。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

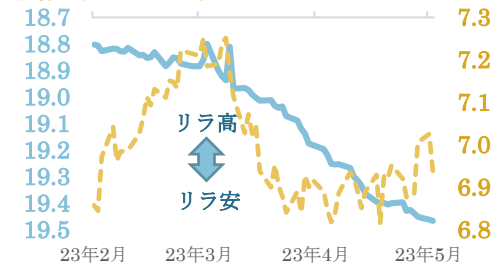
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/3	08:00	CPI(前年比)	4月	44.1%	43.68%	50.51%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコリラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

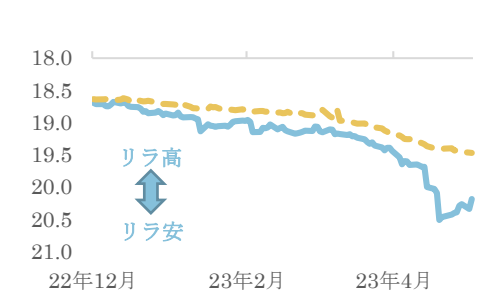
点線: 対円レート(右軸)



トルコリラの対ドル取引レート

点線: インターバンクレート

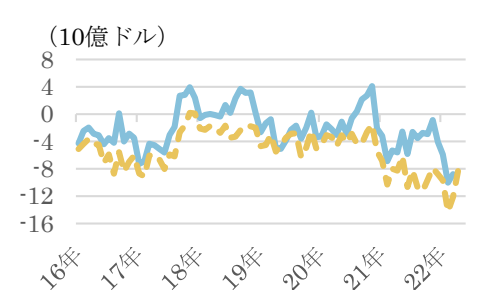
実線: グランド・バザールでの交換レート



経常収支と貿易収支

実線: 経常収支

点線: 貿易収支



(資料: トルコ中銀/トルコ統計局/ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

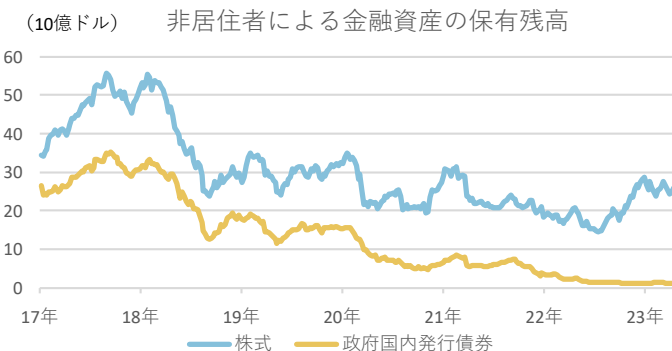
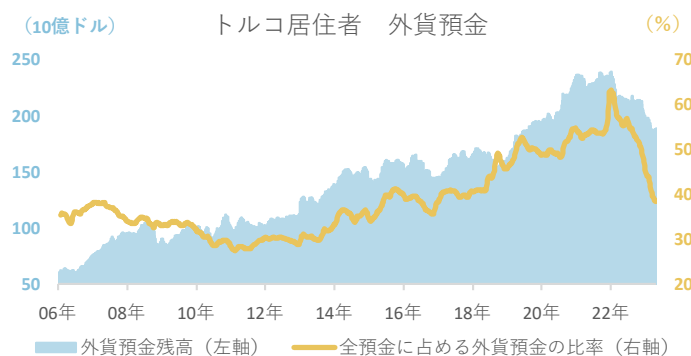
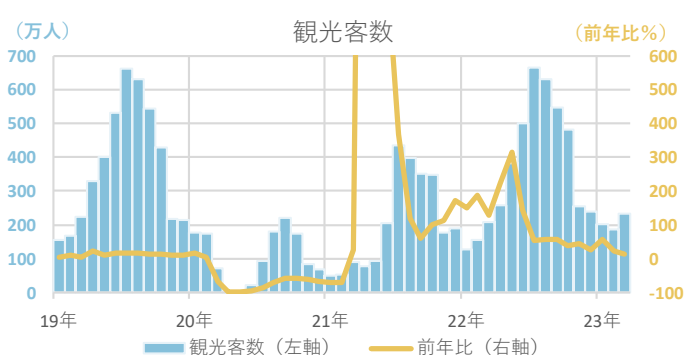
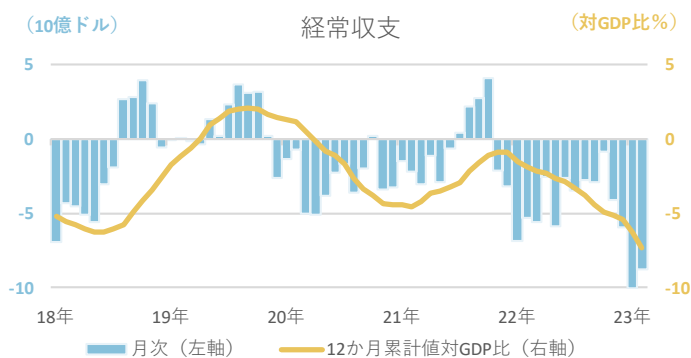
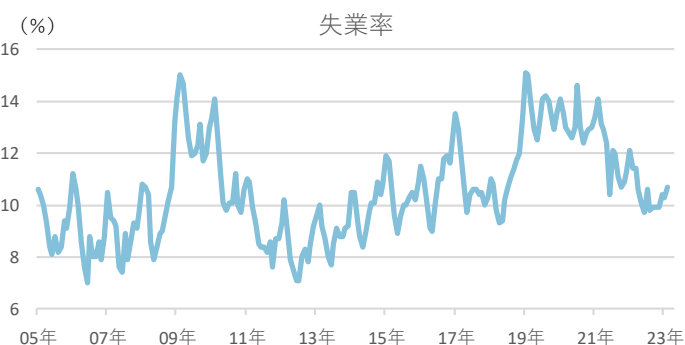
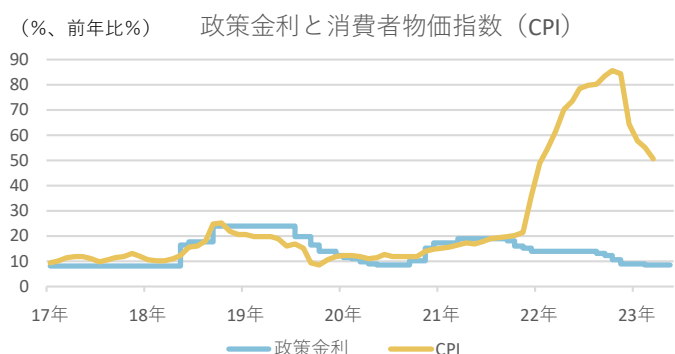
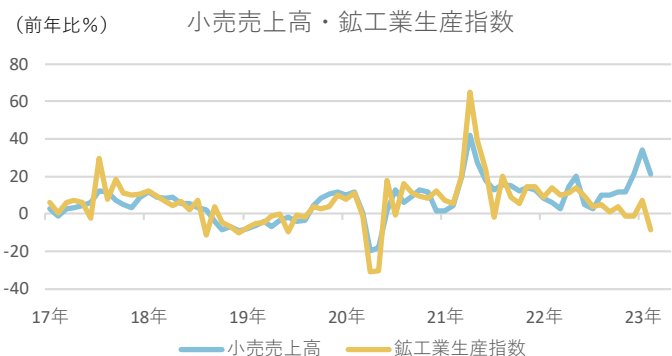
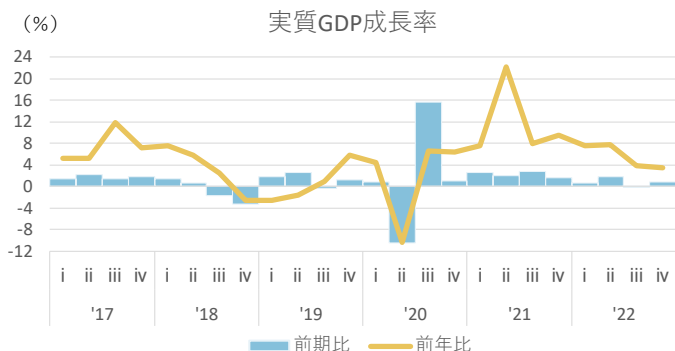
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。